

特集「横浜・鎌倉」文学散歩

横浜

8



ノスタルジック&自由な気風が味わえる作品の数々

インタビュー 紀田順一郎

文学散歩&ブックガイド

18

元町・中華街近辺に文学の香りを求めて／26 港町の散策が楽しくなる10冊

28

小説で読む「150年前のヨコハマ」

鎌倉

36



物語の舞台としての魅力は、「妖しさ」「特異さ」

インタビュー 浅倉卓弥

文学散歩&ブックガイド

44

文豪たちが愛した、海と山に包まれた古都／50 歴史ロマンを深く味わう10冊

52

小説で読む「鎌倉武士の生き様」



56

新連載小説

動乱の幕末、闇の結社と伊達藩の策謀を描く歴史ミステリー小説！

加治将一 倒幕の紋章「闇の番人篇」 ① 人斬り

連載小説

166 宮部みゆき

桜ほうさくら⑦

東合様は笹久介に、父に罪を被せた城方の黒幕がいることを示唆する。

100 小路幸也

入道雲 ラプソディ・イン・クラブ③

一度は解体した家族が映画を撮るため集まり、再び家族を演じる!?

128 仙川 環

待ち伏せ 人体工場④

真柴と美紀は、溝口を捕まえたことを女医の若松に報告したのだが……。

188 山本幸久

一宿一飯の恩義 ジンリキシャングリラ⑩

有珠井有紀の額の汗を拭いてあげるべきかどうか、浅間雄大は迷っていた。

214 江上 剛

行商人暮らし 成り上がり——安田善次郎伝⑨

江戸に出るときの「三つの誓い」を書いた紙を手に、忠兵衛は落ち込んでいた。

288 香納諒一

生い立ち 熱愛①

植村知子と名乗り、市長に近づいたミスター。彼女は誰か。何が狙いなのか。

320 火坂雅志

大仏炎上 その五 鬼神の如く②

三好勢に夜襲を仕掛けた松永輝正は、東大寺の大仏殿へと軍勢を進めた。

504 山本一力

焼津節 その三十五 猷残屋佐吉御用帖⑤

佐吉から武家が抜け荷に手を染めていることを聞いた伊勢屋の藤五朗は。

248 山本 弘

確かなもの 去年はいい年になるだろう(終)

〈タンガロアの破片の落下による被害が、次第に明らかになっていった。〉

480 中村彰彦

ふたたび江戸へ 花ならば花咲かん⑬

藩財政に資するため、田中加兵衛と、瀬要人は、私財から献上金を工面する。

82 原田マハ

川面を渡る風 インディペンデンス・デイ(終)

顔を上げ、胸を張ってきつと言える「今日が私の独立記念日」だと。

520 高橋克彦

風の陣 その二 風の陣「裂心篇」⑯

鮮麻呂は共に決起する仲間に対し、蝦夷を導く風になる決意を告げる。

472



話題の著者に聞く

田牧大和 『緋色からくり』

一癖ある人物を描くのが好きなんです

連載ノンフィクション

364 平山 讓 大優勝旗のかわりに(二) 逆風の人々^{アゲンスト} ⑬

328 百田尚樹 フライ級三羽鳥 闘拳伝説——ファイティング原田とその時代 ⑤

連載エッセイ

398 熊谷達也 小説家の生態 日本人の貌^{かお} ⑰

412 鹿島 茂 ヴァントウイユの小楽節 『失われた時を求めて』を完読する ⑳

428 石原千秋 紙の上の出来事 この名作を知っていますか
〜多和田葉子「時差」——近代小説の愉しみ ⑪

388 竹内一郎 「判断」に欺かれるとき ここ一番に強い人^{あざむ} ⑥

444 佐藤幹夫 高等学校で起きている悩ましい事態 「生きづらさ」を抱えた人たち
——「発達障害」という窓から ②

連載講座

456 佐藤 優 聞き上手 佐藤優に学ぶ「人たらしの極意」
——生き残りの流儀 ⑧

540 文蔵バックナンバー紹介

543 文蔵年間購読のご案内